

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無斷轉載禁止》

レジメン番号： CRC-115

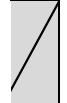
対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
大腸がん	CapeOX (XELOX)	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	J Clin Oncol 26: 2006-12, 2008

〈注意事項/備考〉

- ✓ Cape投与量： $BSA < 1.36m^2$: 2400mg/day、 $1.36 \leq BSA < 1.66m^2$: 3000mg/day、 $1.66 \leq BSA < 1.96m^2$: 3600mg/day、 $BSA \geq 1.96m^2$: 4200mg/day
 - ✓ Capeの内服タイミング：Day1の夕食後からDay15の朝食後まで（ただし、Day2の朝からの内服でも可）、食後30分以内に内服
 - ✓ Cape：他のフル化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける）
 - ✓ HFS (Cape)：保湿剤で予防を。痛み、腫脹、水膨れなどの症状に注意
 - ✓ 腎障害 (Cape)：重篤な腎障害 ($CCr < 30mL/min$) では投与禁忌。 $CCr 30-50mL/min$ では減量を（75%用量など）
 - ✓ 過敏症 (L-OHP)：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
 - ✓ 末梢神経障害 (L-OHP)：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）

✓

:»



_